

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	① 農業大学校家畜伝染病防疫緊急対策事業		
新規・既定の別	① 新規・既定	担当所属	地域農業推進課
<p>1 事業の目的</p> <p>口蹄疫発生に伴い実習用家畜を殺処分した農業大学校の防疫措置を強化するため、必要な防疫設備の整備を行う。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 16,870千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 県</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>学生及び職員が畜産エリア内への出入りの際に、着替え、消毒を行うための更衣室及び噴霧エアシャワー設備を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備箇所：2箇所（肉用牛コース、乳肉複合コース） 			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	(新) 特定疾病フリー地域支援事業		
新規・既定の別	(新規)・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的</p> <p>口蹄疫発生に伴い無家畜地帯となった西都児湯地域において、特定疾病の無い家畜の導入等に対する支援措置を講じるとともに、必要な抗体検査等を実施し、特定疾病の無いモデル地域として再生・復興を図る。</p> <p>※特定疾病 豚：オーエスキー病（AD）、豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS） 牛：牛白血病（BL）</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 40,762千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度～24年度</p> <p>(3) 事業主体 県、宮崎県畜産協会</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>① 特定疾病フリー豚導入支援事業 34,231千円 SPF種豚等を導入した場合、一般種豚との差額の1/2を助成 ※補助頭数：2,340頭 ・導入費 上限9,500円（(SPF種豚価格－一般種豚価格)×1/2） ・運送費 上限5,000円（運賃×1/2）</p> <p>② 特定疾病牛用途変更奨励事業 600千円 抗体陽性の子牛を肥育農場に相対取引する場合の差額の1/2を助成 ※対象頭数：6頭（300頭×2%） ・補助額 上限100千円（(市場平均価格－取引価格)×1/2）</p> <p>③ 民間獣医師活用経費及び抗体検査経費等 5,931千円</p>			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料
(1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	① 肥育豚出荷遅延追加対策事業		
新規・既定の別	① 新規・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的</p> <p>移動制限及び搬出制限により、出荷適期を大幅に超えたため、肉質の低下等に 伴い販売収入が減少した養豚農家に対し、国の基金事業を活用して助成を行い、 経営の安定化を図る。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 6, 192千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 宮崎県畜産協会</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>移動制限及び搬出制限区域内の養豚農家が出荷した肉豚のうち、枝肉重量が 9.5kg以上の場合、既存の国の事業で助成される11,000円/頭に加え、 5,000円/頭の助成を行う。</p> <p style="margin-left: 20px;"> ・助成総額 3,600頭×5千円×1/3 = 6,000千円 ・事務費 576千円×1/3 = 192千円 </p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">※ 2/3は、別途国の基金から助成</p>			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	①人工授精業務停止影響緩和対策事業		
新規・既定の別	①新規・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的</p> <p>口蹄疫発生による人工授精業務の一斉停止により影響を受けた乳用牛、肉用牛繁殖雌牛飼養農家を支援するため、国の基金事業を活用して、人工授精停止期間中の飼養管理経費に対する助成を行い、農家経営の安定化を図る。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 66,596千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 宮崎県畜産協会</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>対象期間内において、人工授精業務一斉停止の影響を受けた日数分の飼養管理経費を助成する。</p> <p>① 対象期間 家畜人工授精一斉停止期間：4月23日～7月27日(96日間)</p> <p>② 1日当たり助成額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳用牛(経産牛) 210円×1/3=70円 ・" (育成牛) 230円×1/3=77円 ・肉用牛(経産牛) 230円×1/3=77円 ・" (育成牛) 230円×1/3=77円 <p style="text-align: right;">※2/3は、別途国の基金から助成</p> <p>③ 事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 66,096千円 <li style="padding-left: 40px;">対象頭数(18,140頭)×1日当たり助成額×平均日数(48日) ・事務費 500千円 			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	① 経営再開酪農家搾乳作業支援事業		
新規・既定の別	① 新規・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的</p> <p>口蹄疫発生に伴い家畜を殺処分した酪農家については、全ての乳牛が新規導入となることから、経営再開当初における事故や負担の増大が懸念される場所である。このため、経営再開時の搾乳作業等を支援し、円滑な経営の再開と農家の負担軽減を図る。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 1, 3 2 8 千円</p> <p>(2) 事業期間 平成 2 2 年度</p> <p>(3) 事業主体 宮崎中央地区第一酪農ヘルパー利用組合等</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>口蹄疫発生酪農家が経営再開時に酪農ヘルパーを利用する際に、実費相当額の 1 / 2 を助成する。</p> <p>① 対象期間 経営再開後の搾乳開始から 2 箇月間</p> <p>② 1 日当たり助成額 4, 5 0 0 円 ((ヘルパー人件費等：9, 0 0 0 円) × 1 / 2)</p>			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	⑨ 畜産試験場バイオセキュリティ機能強化事業		
新規・既定の別	⑨ 新規・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的</p> <p>畜産試験場については貴重な研究用家畜を多く保有しており、口蹄疫をはじめとする悪性家畜伝染病に対して、特に高いセキュリティレベルが求められることから、シャワー施設等を整備し防疫対策の強化を図る。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 10,581千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 県</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>① 畜産試験場本場</p> <p style="padding-left: 20px;">・シャワー施設の整備 9,956千円</p> <p>② 畜産試験場川南支場</p> <p style="padding-left: 20px;">・搬入物品殺菌設備の設置 525千円</p> <p style="padding-left: 20px;">・倉庫内殺菌灯の設置 100千円</p>			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料

（1月補正分）

（部局：農政水産部）

事業名	①家畜防疫体制基盤強化事業		
新規・既定の別	①新規・既定	担当所属	農村整備課
<p>1 事業の目的</p> <p>県内農場を対象に防疫上必要な情報を収集するための機器や県本庁と出先機関を結ぶテレビ会議システムを整備し、本県の防疫体制の総合的な強化を図る。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 7,500千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 県</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>① GPSシステムの整備 5,000千円</p> <p> 県内農場の飼養衛生基準遵守状況調査の際に、GPSシステムを活用し、農場や埋却地の位置情報等を収集する。</p> <p> ・GPS受信機及び専用パソコンの整備等（7地区）</p> <p>② テレビ会議システムの整備 2,500千円</p> <p> 家畜伝染病発生時の病理把握等に迅速に対応するため、本庁（農政企画課及び畜産課）と家畜保健衛生所（3箇所）を結ぶパソコン画面を活用したテレビ会議システムを整備する。</p> <p> ・ウェブカメラや必要なソフトウェアの整備（5箇所）</p>			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	① 海外悪性伝染病緊急対策事業（口蹄疫対策）		
新規・既定の別	① 新規・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的 韓国での口蹄疫発生に緊急に対処するため、外国人旅行者等に対する対策を強化するとともに、農家が実施する防疫対策に対し必要な支援を行う。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 19,218千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 県、宮崎県畜産協会、市町村自衛防疫推進協議会、経済連等</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>① 海外悪性伝染病防疫対策の啓発及び靴底消毒の推進 3,318千円 ・外国人旅行者向けのチラシの作成 ・ホテル、ゴルフ場に対する消毒薬の配付</p> <p>② 畜産農家への消毒薬の配付 6,300千円 ・県の保有する消毒薬を各地域に配送する経費</p> <p>③ 車両用消毒ゲートの整備(1/2補助付きリース) 9,600千円 ・大規模農場等が行う車両用消毒ゲートの整備を助成 1,200千円×16箇所×1/2</p>			

平成22年度口蹄疫対策事業説明資料 (1月補正分)

(部局：農政水産部)

事業名	① 畜産試験場汚水処理施設整備事業		
新規・既定の別	① 新規・既定	担当所属	畜産課
<p>1 事業の目的 施設の老朽化に加え口蹄疫発生による稼働停止により機能が低下した畜産試験場川南支場の汚水処理施設の復旧を行い、試験研究の円滑な再開を図る。</p> <p>2 事業の概要</p> <p>(1) 予算額 13,125千円</p> <p>(2) 事業期間 平成22年度</p> <p>(3) 事業主体 県</p> <p>(4) 事業内容</p> <p>① 汚泥脱水機等の整備 7,875千円 豚ふん尿を水分と固形物に分離し、水分を汚水浄化処理施設へ搬出する設備及び付帯する配管等の整備</p> <p>② 移送槽施設 5,250千円 場内豚舎等から排出される汚水を汚水処理施設まで搬送するライン等の整備</p>			